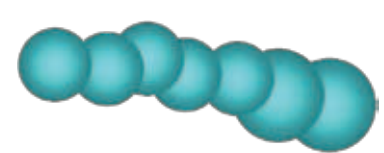


マルカリンカー DB、TBシリーズ

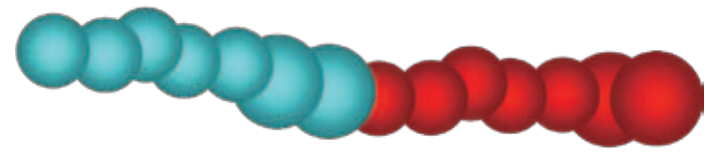
開発品

特徴

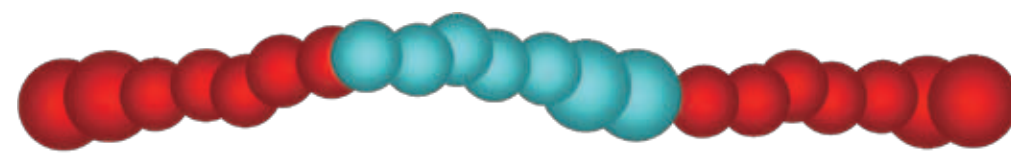
DB、TBシリーズはフェノール骨格を有するため、各種硬化剤との架橋反応が可能であり、ブロック形状であるが故に低弾性、低内部応力に優れた硬化物を得ることができます。また、ビニルエーテル部位の選択により、ミクロ相分離構造を発現させることも可能です。



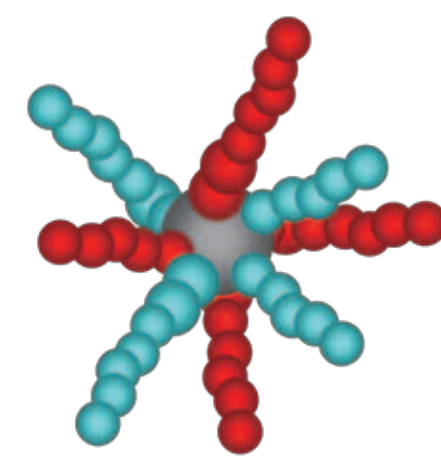
Homopolymer



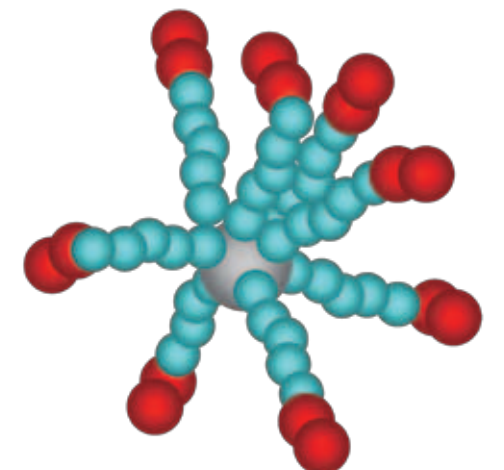
Diblock
Polymer



Triblock
Polymer



Star polymer
AnBn hetero-arm



Star polymer
(AB)n diblock-arm

応用例 — 封止剤の低粘度化・応力分散化 —

			マルカリンカーTB 配合	従来品配合
ビスフェノールA型エポキシ樹脂			100	100
91EP Mw=13000			66	
マルカリンカー S2 Mw=5000				66
硬化促進剤 2 エチル4メチルイミダゾール			1	1
組成物	粘度 (50℃)	B型粘度計	3000mPa・s	17000mPa・s
硬化物	ガラス転移温度	DSC	-32℃, 211℃	211℃
	表面硬度	JIS K5400 (鉛筆硬度)	2H	2H

ビニルフェノール部位とビニルエーテル部位の導入比率を制御による低粘度化例「エポキシ樹脂に配合」
ビニルエーテル部位の選択により、硬化物中にミクロ相分離を誘発。

用途

- 半導体封止材料
- 接着剤
- 潤滑剤
- 印刷ペーストのベース樹脂
- ポリマーアロイ
- コーティング剤 (粉体塗料)
- 塗料添加剤
- 界面活性剤
- 防錆剤
- インキ添加剤
- レジスト
- 表面処理剤